



広報

なは

2023年(令和5年)
第875号 毎月1日発行

12月

市民の友

発行：那覇市 〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号 ☎(代表)867-0111 印刷：丸正印刷株式会社 配布：那覇市シルバー人材センター

めざせ!
ちゅら那覇!

家庭ごみ排出量
前年同月比 **Keep**
10月/1世帯あたり
1日0.855kg



これからも笑顔あふれる、

那覇のまちを目指して。

中核市移行
10周年

思いやりと寛容で、
多様な社会を

本市が中核市に移行してから、今年で10年を迎えました。

中核市になり大きく変わったのは、那覇市保健所の設置です。保健所ができたことで、市役所がより市民に身近な存在となり、地域保健行政の充実を図ることが可能となりました。特に、コロナ禍では、保健所が感染対策の中枢として、柔軟かつ臨機応変な対応を、そして時には、大きな決断を下しながら、市民の安全・安心に全力を尽くしてまいりました。

また、福祉サービスや子育て環境の充実、美しい景観形成といった様々な面でも、那覇市らしさを生み出してきたことも、中核市移行の大きな成果であったと思っております。

中核市移行10年という節目の年を迎え、改めて中核市としての誇りと自覚を持つとともに、地域包括ケアシステムの構築による支えあいの仕組みづくりや、ひとの移動にやさしいLRT導入の検討など時代の変化に応じた様々な取り組みを推し進め、今後も沖縄県のフロントランナーとしての役割をしっかりと果たしてまいりたいと考えております。

そして、これからの時代を選ばれ、県都にふさわしい魅力ある自治体であり続けられるよう、思いやりあふれる寛容性と多様性の社会包摂を常に意識しながら、那覇市の未来が光輝くものになるよう目指してまいります。

これからも、「未来を拓く、なは☆ひとづくり、まちづくり、ゆめづくり」を胸に、こどもからお年寄りまで、誰もが安心して暮らせるまちづくりの実現に向け、全力で市政運営に励んでまいります。

ゆたさるぐとううに
げーさびら。いっぺー
にふえーでーびる。



那覇市長 知念 覚

あなたが見つけた「なは」募集中!

#なはとぴ

いいね!

いいね!

いいね!

Catalog Pocket カタポケ iPhone / Android 無料 Free App

「広報なは市民の友」を10言語で読むことができます。

FOREIGN RESIDENTS PORTAL

那覇市の人口と世帯 ※()内はうち外国人 2023(令和5)年10月末現在	総人口 315,579人(6,573人) 男 152,760人(3,378人) 女 162,819人(3,195人)
	世帯数 159,503世帯(4,610世帯) 住民基本台帳人口の内訳(外国人)

うや 親めゆしぐとうや ちむ 肝に染みり

【沖縄の肝心】

【意味】親の言うことは、心に染めなさい。

沖縄県沖縄語普及協議会 監修

特集

中核市移行10周年

突然ですが、みなさん
那覇市が中核市であることを
ご存知ですか？
平成25年4月に中核市
へ移行し、今年で10年
になります。

①

中核市とは、国から指定
を受けた人口20万人以上
の市のことを指します。
現在は、全国で62市の
中核市があります。

③

中核市に
なったことで
何が変わったの？

④

県が行っていた事務の一部
が市へ移ることにより、より
スピーディーかつ住民に身近
なところで行政サービスを行
えるようになりました。

⑤

中核市移行後、
具体的にどのように市民
サービスが向上したのか、
それぞれ分野の一部を
紹介するとともに、
中核市になるまでの
歩みを振り返ります。

⑥

環境分野

細かな対応・指導で、住みよいまちを

飼い犬が迷子になった場合など、市が収容・保護
等を行えるようになりました。

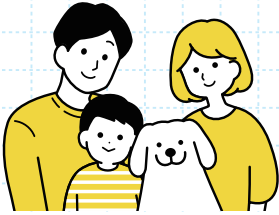
その際、ホームページ上で情報を掲載し、飼い主
に早く返還できるよう努めています。また、犬や猫
に関する相談等に対し、現場確認を行い、適正飼養
等の普及啓発を推進することで、人と動物が共生
できる環境づくりを図っています。

犬の殺処分数

移行前
平成24年 131件

→

令和2年より3年間、
殺処分ゼロを達成中



福祉分野

手続きが
スピーディーに

県と市で分担していた事務を市に一元化することで、市民へより迅
速な行政サービスを提供することが可能となりました。

(例えば)
母子父子寡婦福祉資金の申請から貸付ま
での期間

移行前 約2か月
↓
移行後 約1か月半

2週間
短縮



都市計画分野

地域の特性にあった景観づくり

景観施策を実施する上で、きめ細やかな景観行政
の運営が図られるようになりました。また、市民や屋
外広告業者向けに屋外広告物条例の内容や許可申
請事務手続き等について、わかりやすく解説したガ
イドラインを作成し、市HP上で事例等を例示する
ことで、市民サービスの向上を図っています。

子育て分野

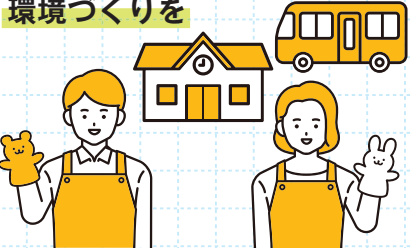
細やかな指導でこどもたちの
発育・安全を確保

認可外保育施設に入所しているこどもたちが、健やか
でのびのびと発育できる環境を整えるための支援事業
のほか、施設への立入調査を定期的の実施できるよう
になりました。

直接訪問することで実態を把握でき、細部にわたる適
正な指導・改善に向けた助言などが行え、保育サービ
スの向上を図っています。

保育園及び分園等の設置・認可が、市の権限ででき
るようになり、きめ細やかな対応が可能となりました。

誰もが安心して子育てできる
環境づくりを



認可・認定件数(※認定こども園への移行件数等含む)

平成25年	1件	平成28年	32件	令和元年	6件
平成26年	4件	平成29年	16件	令和2年	6件
平成27年	12件	平成30年	10件	令和4年	5件

広告

「**相続の相談がしたい。**できればいつもの街で」

そんなあなたへ
お得な情報! なんでも話せる **相続無料相談会** はじめました

相続無料相談会【要予約】 10:00～16:00

12月2日(土)・9日(土)・16日(土)

予約枠には限りがあります! まずはお電話を。

予約
受付時間 平日 9:00～17:30 **ご予約:0120-927-122**

琉球法律事務所 無料相談会



沖縄弁護士会所属
代表弁護士 久保 以明
(29685)

弁護士法人琉球法律事務所

住所 那覇市牧志2丁目16番46号
タカラマンションマキシー1(201号)

主催 弁護士法人琉球法律事務所

那覇市が中核市になるまでの歩み

- 平成18年6月
地方自治法の改正(中核市面積要件の廃止)により、市において、中核市の要件を満たす

- 平成22年4月
市長から県知事に対し、中核市への円滑な移行に係る協力を要請



- 平成22年5月
県及び市において、中核市移行県・市連絡会議の設置

- 平成22年5月～平成23年3月
・市での中核市移行推進本部会議を実施
・県及び市での連絡会議を実施

- 平成23年8月
「中核市移行に向けての講演会」を開催

- 平成23年11月～平成24年3月
・市での中核市移行推進本部会議を実施
・県及び市での連絡会議を実施

- 平成24年4月
県知事へ中核市指定申出の同意について申入れ

- 平成24年7月
県において、市へ中核市指定申出について同意

- 平成24年8月
総務大臣へ中核市指定の申出



- 平成24年10月
中核市の指定の閣議決定、政令公布

- 平成25年2月
中核市「那覇市」誕生記念フォーラム開催



- 平成25年4月
中核市へ移行、那覇市保健所設置



保健・衛生分野

保健所の設置により、市民により近く、きめ細やかで迅速な対応ができるように

医事・薬事に関する審査・許可等

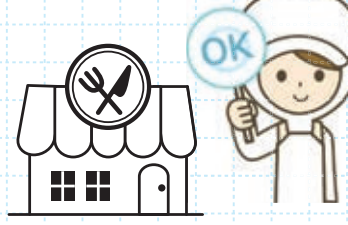
医師等の医療従事者資格届出や、病院・診療所・薬局・ドラッグストア・鍼灸などの施術所を開設する際の審査・許可等、市保健所での手続きが可能となり、市民の利便性が向上しました。



申請件数:137件(令和4年度)

食品衛生に関する許可および指導

飲食店などの食品関係施設の営業許可等を行うほか、食中毒といった衛生上の問題が生じた際の指導などを市が行うことにより、事業者や市民への対応が迅速化されました。



申請件数:1,877件(令和4年度)

生活衛生に関する許可等・指導

旅館・公衆浴場・理容美容所などの営業許可等を市が行うことで、迅速な指導が可能になり、衛生的環境の確保につながっています。



申請件数:193件(令和4年度)

こころの健康の保持増進と早期発見のために

体もこころも共に健康で、地域で自分らしく生活できるよう、健康に関する普及啓発や専門相談、またその支援体制構築のために地域の医療機関や事業所等と連携を図っています。

こころの不調や不眠、気分の落ち込み、ひきこもりやお酒の問題などの相談窓口として、『こころの健康』の相談を行っており、令和4年度は、コロナ禍などの影響により、延べ5,864件の相談がありました。また、令和元年に策定された『自殺対策計画』に基づき、悩んでいる人に寄り添い温かく見守る「命の門番」であるゲートキーパーを養成しています。誰もが安心して暮らすことができるよう、若い世代からのこころの健康づくりについても取り組んでいます。

歯科口腔保健支援センターの設置

生涯口からおいしく食べることができることを目標に、歯をなくさないためのむし歯や歯周病予防、乳児の食べる機能の発達の支援や食べる力を保つための高齢者の口腔機能の維持向上といった口腔に関する様々な悩み・問題についてサポートします。



コロナ禍における組織の横断的な対応

情報を一元管理することで市内の感染状況を的確に把握でき、調査やその後の作業を円滑に行うことができました。また、多いときには1日1,200人以上の新規感染者が出ることもありましたが、他部署から応援職員を派遣する等、全庁体制で新型コロナウイルス感染症対策に取り組むことができました。



那覇市保健所内の新型コロナ現地対策本部

保健所所長メッセージ

保健所は例えるなら陰の立役者だと思います。例えば、感染症を発生させないように、または拡大しないように策を講じるのが保健所の役割の一つです。日常生活の中で実感することは少ないと思いますが、人々が健康に過ごせるよう陰ながら頑張っているとイメージすると分かりやすいかもしれません。

コロナ禍においては、職員や関係機関を始め多くの方々の協力のおかげで、なんとか乗り切ることができました。一方で、様々な課題も見えてきました。今回の経験を踏まえ、平時はもちろん緊急時にも市民の健康を守るよう、今後も組織体制の強化や人材育成に取り組んでいきたいと思っています。

ハッピーな職員によるハッピーな市民サービスを提供できる保健所を目指します!

広告

お持ちの**不動産**を弊社が**直接買取**致します!!



直接買取、
だから安心!

- ✓ 早めに売却したい
- ✓ 調査から売却まで
すべてお任せしたい
- ✓ 周りに知られたくない

お支払い最短

5日

仲介手数料

不要

訳あり
物件
相談可

軍用地
も対応

査定無料!お問合わせはこちら>>>



てるまさりーす
那覇市泉崎1丁目12番15号

TEL.098-943-4355
平日9:00～17:00(土曜日・日曜日・祝日・年末年始はお休み)

こ
ス
マ
ホ
ら
は

